



平成 17 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社アオキインターナショナル  
代表者名 代表取締役社長 青 木 拓 憲  
（コード番号 8214 東証・大証第一部）  
問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍  
（TEL . 045 - 941 - 4888）

## 当社子会社（株式会社ヴァリック）の中間期及び通期業績予想の 修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社である株式会社ヴァリックの平成 17 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期中間期（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日）及び平成 18 年 3 月期通期（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

各 位

会 社 名 **株式会社ヴァリック**  
 代表者名 代表取締役社長 中 村 宏 明  
 ( J A S D A Q ・ コード : 2 3 8 7 )  
 問合せ先 常務取締役 菅 谷 信 一  
 ( TEL . 0 4 5 - 5 9 0 - 4 8 8 8 )

### 中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 5 月 12 日付当社「平成 17 年 3 月期決算短信 (非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

- 1 . 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)  
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	4,712	322	52
今 回 修 正 予 想 ( B )	4,926	563	79
増 減 額 ( B - A )	214	241	131
増 減 率 ( % )	4.5	74.8	
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間期)	3,922	231	112

- 2 . 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)  
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	11,654	794	179
今 回 修 正 予 想 ( B )	12,610	930	210
増 減 額 ( B - A )	956	136	31
増 減 率 ( % )	8.2	17.1	17.3
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	8,630	611	164

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 17,576 円 16 銭

### 3. 修正の理由

- (1) 当中間期は、売上高 4,712 百万円、経常利益 322 百万円、当期利益 52 百万円を計画しておりました。

売上高は、客単価アップを図る施策として「食」の強化を実施いたしました。メニューの改廃や季節メニューの販売等により飲食売上が好調に推移し、前回発表予想との比較で 214 百万円増となる 4,926 百万円に修正いたしました。

経常利益は、広告宣伝費のコントロールおよびエリア単位での営業サポートの実施により、前回発表予想との比較で 241 百万円増となる 563 百万円に修正いたしました。

当期利益は、当初計画通り 5 店舗の減損損失を計上いたしましたが、売上高計画達成が大きく貢献し、前回発表予想との比較で 131 百万円増となる 79 百万円に修正いたしました。

- (2) 下期につきましては、引き続きカラオケ事業の売上は堅調に推移するものと予想されます。また、本年 9 月 1 日付ゼビオ株式会社より譲受けましたカラオケ店等 9 店舗の貢献、および本年 10 月 1 日付で株式会社アオキインターナショナルより譲受けました複合カフェ事業『快活 C L U B』等の新規出店費用の増加が見込まれます。

これにより、通期の売上高は 12,610 百万円、経常利益は 930 百万円、当期利益 210 百万円を予想しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上